
第 40 報 平成 24 年 9 月 18 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

【生コンクリート 釜石】

復興関連工事が本格化しており、需要は大幅に増加している。旺盛な需要に対して地元骨材の供給不足から、北海道函館から骨材輸送が開始されており、生コン製造コストは大幅に上昇している。生コン供給がひっ迫する中、製造コスト増を背景に販売側では強気の販売姿勢を示しており、建築標準物(21-18-20)で前月比m³当たり 1,400 円上伸し、1 万 6,700 円となった。

【コンクリート用砂 仙台】

県内生コン工場の大半が同一産地の砂を使用していることから、生コン需要の増加に伴い、コンクリート用砂はひっ迫感を強めている。骨材メーカーでは、増産体制を強化するも、旺盛な需要に追い付かない状況。製造コスト、運搬コストの上昇などを背景に、メーカーでは値上げを打ち出していたが、一部で浸透し、荒目(洗い)で前月比m³当たり 200 円上伸し、2,800 円となった。

【コンクリート用砕石(砂利) 宮古】

生コンの大幅な需要増が続く中、コンクリート用骨材はひっ迫した状況が続いている。骨材メーカーでは、作業員の増員など増産体制を強化していることから、製造コストが大幅に上昇している。運搬コストの上昇もあり 20~5mm(砂利)で前月比m³当たり 500 円上伸し、3,900 円となった。

当該地区の生コン用骨材は地元産の砂利・砂不足から、内陸遠方からの製品と海上輸送品が、地元産に一部ブレンドされている。

【鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材工場の稼働状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材各工場の稼働状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼働状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部
TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P78~)	青森県	八戸	—	1万2,900円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
	岩手県	宮古	2012年 9月号	1,000円/m3上伸 1万5,550円	9月10日		ひっ迫	強含み
		大船渡	—	1万4,400円	9月10日		ひっ迫	強含み
		久慈	2012年 6月号	300円/m3上伸 1万3,500円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 10月号	1,400円/m3上伸 1万6700円	9月10日	復興関連工事が本格化しており、需要は大幅に増加している。旺盛な需要に対して、地元骨材の供給不足から、北海道函館から骨材輸送が開始されており、生コン製造コストは大幅に上昇。生コン供給が絞られる中、製造コスト増を背景とした販売側の1,400円の値上げが浸透した。	ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2012年 6月号	1,500円/m3上伸 1万1,000円	9月10日		ひっ迫	横ばい
		石巻	2012年 9月号	400円/m3上伸 1万3,100円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2012年 9月号	400円/m3上伸 1万4,600円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	—	1万4,700円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亶理	2012年 10月号	500円/m3上昇 1万3,500円	9月10日	新年度以降の出荷量は、前年比315%と大幅な増加。本復旧工事の本格化に伴い、製造・販売側では亶理地区においてm3当たり1万5,000円以上、その他エリアでもm3当たり1万3,000円以上とすべく、さらに売り腰を強めてきた。その一部が浸透し、亶理地区にてm3当たり500円の価格上昇となった。	ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2012年 9月号	400円/m3上伸 1万3,100円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	—	1万4,700円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	—	1万1,000円	9月10日		ひっ迫	強含み
		南相馬	2012年 4月号	500円/m3上伸 1万3,000円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動 (2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
再生クラッシュ ラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	青森県	八戸	—	1,700円	9月10日		均衡	横ばい
	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	—	1,900円	9月10日		ひっ迫	強含み
		久慈	—	2,300円	9月10日		均衡	強含み横ばい
		釜石	—	1,900円	9月10日		ひっ迫	強含み
		仙台	2012年 9月号	200円/m3上伸 1,600円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	石巻	2012年 6月号	200円/m3上伸 2,000円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2012年 6月号	100円/m3上伸 2,500円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2012年 6月号	2,200円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2012年 9月号	100円/m3上伸 1,700円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2012年 9月号	100円/m3上伸 1,800円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2012年 6月号	2,400円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 2,050円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
	福島県	南相馬	—	1,900円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動 (2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P170~)	青森県	八戸	—	3,300円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
	岩手県	宮古	2012年 10月号	500円/m3上伸 4,000円	9月10日	生コンの大幅な需要増が続く中、コンクリート用骨材もひっ迫した状況が続いている。増産体制を強化していることから、製造コストは大幅に上昇。2012年5月号の上伸に続き、m3当たり500円の上伸。また、当該地区の生コン用骨材は地元産の砂利・砂不足から、内陸遠方からの製品と海上輸送品が、地元産に一部ブレンドされている。	ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	「-」表示	9月10日			
		久慈	2012年 10月号	200円/m3上伸 3,500円	9月10日	生コン需要増加に伴う増産体制の強化から、製造コストは上昇。メーカー側の値上げが一部浸透し、m3当たり200円の上伸。	ややひっ迫	強含み
		釜石	2012年 8月号	250円/m3上伸 3,400円	9月10日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2012年 10月号	200円/m3上伸 2,800円	9月10日	県内生コン工場の大半が同一産地の砂を使用している中、生コン需要の増加に伴い、コンクリート用砂もさらにひっ迫し、出荷制限がかかっている。増産体制の強化を図るも、需要には追い付かない状況であるが、製造側の製造コストは上昇し、その一部が浸透。m3当たり200円の上伸となった。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2012年 6月号	300円/m3上伸 3,000円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2012年 6月号	300円/m3上伸 3,600円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2012年 6月号	200円/m3上伸 4,300円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亶理	2012年 10月号	300円/m3上伸 2,900円	9月10日	県内生コン工場の大半が同一産地の砂を使用している中、生コン需要の増加に伴い、コンクリート用砂もさらにひっ迫し、出荷制限がかかっている。増産体制の強化を図るも、需要には追い付かない状況であるが、製造側の製造コストは上昇し、その一部が浸透。m3当たり300円の上伸となった。	ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2012年 10月号	200円/m3上伸 2,800円	9月10日	県内生コン工場の大半が同一産地の砂を使用している中、生コン需要の増加に伴い、コンクリート用砂もさらにひっ迫し、出荷制限がかかっている。増産体制の強化を図るも、需要には追い付かない状況であるが、製造側の製造コストは上昇し、その一部が浸透。m3当たり200円の上伸となった。	ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2012年 6月号	200円/m3上伸 4,300円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	9月10日		ひっ迫
	南相馬		—	3,500円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20~5mm 骨材 単位:m3 (P170~) ※宮古は砂利 の価格を掲載 ※釜石はコンク リート用砕砂の 価格を掲載	青森県	八戸	—	3,600円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
	岩手県	宮古	2012年 10月号	500円/m3上伸 3,900円	9月10日	生コンの大幅な需要増が続く中、コンクリート用骨材もひっ迫した状況が続いている。増産体制を強化していることから、製造コストは大幅に上昇。2012年5月号の上伸に続き、m3当たり500円の上伸。また、当該地区の生コン用骨材は地元産の砂利・砂不足から、内陸遠方からの製品と海上輸送品が、地元産に一部ブレンドされている。	ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	300円/m3上伸 3,400円	9月10日		ひっ迫	強含み
		久慈	2012年 10月号	100円/m3上伸 3,300円	9月10日	運搬車両不足による運搬コストの上昇等を背景とした各メーカーの値上げが浸透し、m3当たり100円の上伸。	ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 8月号	250円/m3上伸 3,400円	9月10日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2012年 3月号	200円/m3上伸 3,100円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2012年 6月号	300円/m3上伸 3,100円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2012年 6月号	300円/m3上伸 3,600円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2012年 6月号	200円/m3上伸 3,900円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2012年 3月号	200円/m3上伸 3,100円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2012年 3月号	500円/m3上伸 3,400円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2012年 6月号	200円/m3上伸 3,900円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	9月10日		ひっ迫	強含み
		南相馬	—	3,200円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P298~)	青森県	八戸	—	1万2,100円	9月10日		均衡	横ばい
	岩手県	宮古	2012年 9月号	1,000円/t上伸 1万4,200円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		大船渡	2012年 9月号	1,000円/t上伸 1万3,400円	9月10日		ひっ迫	横ばい
		久慈	2012年 9月号	800円/t上伸 1万3,700円	9月10日		均衡	横ばい
		釜石	2012年 9月号	1,000円/t上伸 1万3,500円	9月10日		ひっ迫	横ばい
	宮城県	仙台	2012年 9月号	600円/t上伸 1万1,600円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		石巻	2012年 9月号	600円/t上伸 1万1,900円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2012年 9月号	600円/t上伸 1万2,200円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2012年 9月号	600円/t上伸 1万2,000円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		亶理	2012年 9月号	600円/t上伸 1万1,600円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		松島	2012年 9月号	600円/t上伸 1万1,700円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		南三陸	2012年 9月号	600円/t上伸 1万2,100円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
	福島県	いわき	2012年 9月号	500円/t上伸 1万1,900円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2012年 9月号	500円/t上伸 1万2,150円	9月10日		ややひっ迫	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	9	鋼矢板	9月12日	東北地区の本設工事向け需要が活発なことに加え、四国や関西など西日本でも防災対策工事向けの引き合いが増えており、需給はひっ迫している。高炉原材料価格は弱含み推移だが、昨年の上昇時に販売価格への転嫁が浸透せず、メーカー側の収支が悪化したため、足元、採算重視の販売姿勢を徹底している。メーカー側の売り腰は強く、先行き、強含み推移の見通し。	ひっ迫	強含み
		18 ～ 41	異形棒鋼	9月13日	原料の鉄屑価格が上昇し、製品の底値感が台頭したため引き合いは増加、市場は盛り上がりを見せた。一方、収支改善を目指すメーカー各社は値上げを打ち出し、製販の売り腰は引き締まりを見せている。ただ、その後に鉄屑の価格が下落したことで、価格交渉は難航しており、市況は安値の払しょくにとどまっている。 足元、需要は落ち着きを見せている。今後の海外要因による鉄屑の価格動向は不透明感が強く、需要家、流通側とも様子見ムード。目先、市況は横ばい推移の見通し。	均衡	横ばい
	セメント	72	セメント(バラ)	9月13日	太平洋セメント大船渡工場で生産される特殊セメントが10月より出荷開始予定となった。これに伴い、震災前の状況に戻り、供給懸念は払しょくされる見通し。	均衡	強含み横ばい
	型枠材	210 ～ 211	コンクリート 型枠用合板	9月10日	供給体制は平常通りとなっている。産地高を受けた高値製品が入荷しており、販売側は売り腰を強めている。需要は堅調に推移しているものの、相場は他地区に比べて高めで推移しており、もう一段の押し上げまでには至っていない。上期決算を控え、販売各社は模様眺めの展開ながらも、先行き、強含み横ばいで推移する公算が大きい。	ややひっ迫	強含み横ばい
	木材	226 ～ 229	仮設・土木用 木材	9月10日	復興関連需要も現時点では一段落し荷動きは乏しい。メーカー側も必要以上に在庫を抱えておらず、需要見合いの生産となっている。供給体制に問題はない。	均衡	横ばい
230 ～ 237		一般建築用 木材	9月10日	戸建住宅の新築やリフォームを中心に好調な荷動きを見せているものの、大工職や配筋工不足の影響による基礎工事からの遅れが見られている。このため、資材がひっ迫するまでには至っていない。今後、県営、公営復興住宅事業が本格化すれば資材がひっ迫する可能性もあるが、現時点で供給体制に問題はない。	均衡	横ばい	

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	石油製品	250～252	石油製品	9月14日	8月、中東地域の地政学的リスクの高まりなどから原油相場は騰勢を強め、末端市況を押し上げた。一方、国内では景気の低迷から需要は盛り上がりや欠くものの、元売各社は減産を徹底し、需給は均衡している。9月入り後は原油価格の上昇が一服したことで、流通側も様子見の構えに転じており、先行き、現行圏内を横ばい推移。 JX仙台製油所、コスモ石油千葉製油所は3月末までに稼働を再開。これにより東日本大震災の影響で稼働を停止していた製油所はなくなり、供給面では通常の体制に戻った。	均衡	横ばい
	仮設関連資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	9月14日	東北地区では震災復興工事向けの引き合いが増えてきたものの、現時点で供給能力に問題はない。 被災地以外の供給は平常どおり。	ややひっ迫	横ばい
	各種 賃貸料金	265 ～ 273	建設機械器具 賃貸料金	9月14日	需要は、復旧・復興工事を中心に堅調に推移しており、福島地区については災害復旧や除染関連の引き合いも出ている。機種についてはバックホウの引き合いが中心で、ここ最近では復旧に絡んで洗浄車の引き合いも出ている。一方、発電機については、通常の稼働状況に戻ってきている。	ややひっ迫	横ばい
		274 ～ 277	仮設鋼材 賃貸料金	9月14日	【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】 稼働率は年度末に比べ落ち着きつつあるものの、依然として高止まりしている状況に変わりはない。供給側は今後、福島県、宮城県を中心とした震災復興向け需要の本格化を背景に供給不足になる可能性があるものと見ている。また、正確な市場規模が見えないことや、震災復興需要が時限的であることが予測されるため、新規の設備投資には消極的である。当面、名古屋以西からの資機材供給体制を整えて対応する見込みだが、運搬費の問題など不透明な部分も残っている。先行き、需給は復興需要本格化に伴い、よりタイト化する見通し。 【敷き鉄板】 東北地方は福島県、宮城県を中心とした震災復興向けの需要により荷動きは好調。需給はややひっ迫しているものの、潜在的な供給量が豊富なことから、先行き、需給は現状のままで推移する見通し。関東地方は官民とも需要は好調で荷動きも活発。東北での震災復興需要も見込めるものの、運搬経費などを考慮すると東北地方からの引き合いは限定的と見る向きが多く、先行き、需給はややひっ迫した状況で推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	295	ストレートアスファルト	9月10日	10月にも関東の供給拠点の1つが1カ月程度の定期改修に入る予定で、一時的な需給のタイト感を懸念する声もあるが、足元の需給動向に大きな変化はない。 市況面では、ドバイ原油相場が1バレル=110ドル台と前月比ほぼ横ばいで推移し、4～5月期比で弱基調で変わらず、足元の国内ストアス市況は下押し。 先行きについては、国際原油相場が徐々に上値を積み上げて推移している事から、連れて、国内スト・アス市況も強含み横ばいで推移する見通し。	均衡	強含み横ばい
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	9月10日	被災した工場は、事業停止となった2工場を除いて稼働を再開しており、全品目について供給は平常通りとなっている。メーカー各社の生産はあまり減少していないものの、出荷好調を受けて、在庫量は減少しており、需給は均衡となった。東北地区の需要については引き続き好調であり、先行き、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	9月10日	東北地区は復興関連需要を中心に荷動きは堅調ながら、全体を引っ張るような数量は出ていない。復興関連需要の本格化する時期も不透明で、現状、メーカーでは平常どおりの生産体制となっている。供給体制についても、現時点では問題なく、平常どおりの供給が可能。	均衡	横ばい
機械設備資材	配管材	782	硬質ポリ塩化 ビニル管	9月10日	下水関連で荷動きがあるものの、震災復興関連の本格的な需要はまだ先であり、いまのところ供給体制に問題はみられない。	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ~ 9	9月12日	被災三県(岩手、宮城、福島)の土木系の鉄筋工事は、沿岸部の復興工事発注が大量に出てきており、工事量が増加している。しかし、関東・関西など他地区からの応援も受け入れ、年度末の最盛期よりひっ迫具合は落ち着いている状況。しかし、復興工事の発注は今後も増加する一方であり、鉄筋工の慢性的な労務不足に変わりはない。賃金の上昇とともに、他地区からの調達に伴う経費等もかさんでいる状況で、専門工事業者側の値上げ要請も根強く、強含み推移が続いている。当面、本格化する復興工事の需要と慢性的な鉄筋工の不足を背景に、強含み横ばいでの推移が続こう。	ややひっ迫	強含み横ばい
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	414 ~ 417	9月13日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、引き続き多くの復旧復興関連工事が発注されており、県など自治体発注工事も増え始めている。また、内陸部において建築および土木工事の発注も増加しつつあり、現在はある程度均衡している労務者の需給バランスに影響を及ぼす可能性が大きく、再度ひっ迫する状況が予想される。 工事費相場は、今後、被災三県のほか全国的な工事繁忙期を迎えることから、依然として専門工事業者優位の相場形成であることに変わりはなく、当面は強含み横ばいで推移しよう。	ややひっ迫	強含み横ばい
	型枠工 (材工共)	422 ~ 425	9月13日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は引き続き災害復旧工事としてケーソン製作や上部コンクリートなどのコンクリート構造物を中心に発注量が増加している。 こうした状況の中、型枠工に関しては労務や型枠材に関する慢性的な不足感は続くものの、他県から調達をするなどの対応により先月以降、状況に目立った変化は見られず、相場面も横ばいで推移している。 一方、工事量の増加により、生コン等の調達が追いついていない状況が工事の進捗状況に影響を与えている。その結果、作業効率悪化による日当たり施工量の減少が懸念されることから、市場単価は強含み横ばいで推移する見込み。	ややひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	9月10日	被害のあった沿岸部では、倉庫や水産加工場などの物件が見られ、また、内陸部では、病院や学校関連、マンションや事務所ビルなどの新設工事や補修工事、耐震改修工事などの需要が堅調に推移している。専門工事業者側では、慢性的な職人不足に対し、隣県からの協力体制が見られるものの、総合工事業者側では、依然として職人確保に苦慮している。市況は、強含み。	ひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	9月10日	沿岸地域では、水産加工の工場や冷凍・冷蔵倉庫等の建設が増加している。また、市内中心部においても、住居・オフィスビルの改修工事や、新築工事案件が本格化している。 専門工事業者は職人確保のため、他地域からの応援を受けて対応しており、コスト高から値上げ要求を強めている状況。このため、相場は上伸している。 型枠工の不足が依然として深刻な中、工事需要は増加しており、宿舍不足の問題も再燃してきている。需給のひっ迫感はこの先も解消されず、市況は引き続き強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み